

講師紹介

土井一成

どい かずなり

1955年生まれ、北海道出身。東京工業大学建築学科卒業、社会開発工学修士課程終了。1980年に横浜市役所入庁。企画調整局・都市計画局・建築局・都市経営局などで、新横浜・京浜臨海部・山手地区などのまちづくりプロジェクト、総合計画、広域行政などを主に担当。その後、瀬谷区役所福祉保健センター担当部長、共創推進事業本部長を経て、2011年5月から水道局長。

小沢朗

おざわ あきら

横浜市事務職員。1956年静岡県生まれ。1972年横浜市に転居。1975年北沢猛氏と同じ横浜緑ヶ丘高校を卒業（在学中は同様に山手の丘をトレーニングで走る）。1975～1979年同志社大文学部社会学科新聞学専攻（明治期の赤煉瓦造建築が建ち並ぶキャンパスで過ごす）。1979年横浜市役所に入庁。神奈川区、市民局で「広報よこはま」「市民グラフヨコハマ」等を担当（横浜の歴史やまちづくりを学ぶ）。1987～1991年都市デザイン室にて北沢係長（当時）の下で「歴史を生かしたまちづくり」に従事。2004～2007年都市デザイン室長。2008・2009年中区戦略企画官。本講座時は市民局市民活動支援課、現在は政策局共創推進室勤務。NPO法人アーバンデザイン研究体運営会員。

今井信二

いまいしんじ

元横浜市創造都市事業本部推進課長。横浜市在職中は、称名寺庭園、旧横溝家住宅、旧長沢家住宅（都筑民家園）などの歴史遺産の保存活用、横浜能楽堂の整備、横浜山手洋館群調査などの歴史的遺産の保存活用を担当したほか、創造都市事業本部では、歴史的建造物を生かした文化芸術による旧市街地の活性化を進める創造都市推進を担当。2009年定年退職後は陶器作りに専念している。在職中の横浜への関わりから、市域の街づくりに、引き続き強い関心を寄せて取り組みを続けている。

堀勇良

ほりたけよし

一般社団法人横浜歴史資産調査会理事。1949年東京生まれ。1973年京都大学工学部建築学第二学科卒業、東京大学大学院・生産技術研究で村松貞次郎氏に師事。2005年「履歴を通じての近代日本外国人建築家の研究」により日本建築学会賞（論文）を授与。藤森照信氏とともに各地で近代建築の調査を行い「東京建築探偵団」を結成。横浜開港資料館調査研究員・研究等担当課長、文化庁文化財参事官（建築物担当）調査部門主任文化財調査官を経て、現在は一般社団法人横浜歴史資産調査会理事。主な著書に『日本の様式建築』（新建築別冊 共著）、『建築探偵術入門』（文春文庫 共著）等

小田嶋鉄朗

おだしまてつろう

横浜市港北区総務部区政推進課企画調整係長。1969年横浜市生まれ。1994年造園職として入庁後、緑の協会への出向、緑政局を経て、1998から都市デザイン室。10年間の在室中は山手地区のまちづくり、日本大通り再整備、公共サインの調整、歴史的建造物の保全・活用を担当。

その後、環境創造局を経て現職。現在は区の企画調整業務に加えて、有志と共に港北区内の歴史的建造物の調査を行っている。また、「横浜ウェディングの推進」「鉄道遺構の調査」をライフワークとする。

中野創

なかの はじめ

横浜市都市整備局都市デザイン室長。1984年横浜市役所入庁。緑政局計画課、緑政局企画課、中区区政推進課、都市経営局政策課、創造都市推進課等を歴任し現職。都市デザイン室での取り組み実績では、

- ・地元住民とのワークショップによるまちづくり、
 - ・日本大通り、象の鼻地区等の計画調整
 - ・ベーリックホールや旧富士銀行など歴史的建造物の保全活用
- などがあげられる。

秋元康幸

あきもと やすゆき

横浜市文化観光局創造都市推進部長。横浜市文化観光局創造都市推進部長。(当時は APEC・創造都市事業本部創造都市推進部長) 神奈川県生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒。横浜市都市計画局都市デザイン室担当係長、(株)横浜みなとみらい21企画部係長、横浜市都市整備局地域整備支援課長、横浜市都市整備局都市デザイン室長を経て現職。

横浜市役所入庁以来、都市づくりの仕事を中心に行ってきた。特に、みなとみらい21や、都市デザイン室、創造都市推進部などで、横浜都心部のまちづくりに関わってきている。

また、都市計画局企画調査課や、地域整備支援課では、郊外部のまちづくり、特に市民参加のまちづくりや、コミュニティ再生の仕事にも関わってきている。

菅孝能

すがたかよし

(株)山手総合計画研究所 代表取締役。山口県生まれ。1965年 東京大学工学部建築学科卒業後、大高建築設計事務所を経て、1968年に和設計事務所へ勤務。1973年に和設計事務所取締役役に就任する。1983年(株)山手総合計画研究所設立。これまでに多摩ニュータウン、港北ニュータウン、金沢シーサイドタウン、高坂地区等の地域計画や町田市・昭島市・伊万里市などの公立図書館の設計、都市デザインでは横浜市山手地区・関内地区・郊外区等の他に藤沢市江の島・湘南CXや逗子市等も手掛ける。鎌倉市や藤沢市等では景観審議会等の委員やアドバイザーを務める一方、ボランティアとして、横濱街づくり倶楽部や山手まちづくり推進会議、また湘南邸宅文化ネットワークでは顧問を担う。

山路清貴

やまじきよたか

山路商事株式会社都市・建築設計室長。1978年早稲田大学大学院建設工学修士課程修了。AURコンサルタント代表取締役副所長を経て、現職。横浜市まちづくりコーディネーター。プロムナード、公園、河川、橋、建築物などのデザインを通じ、市民参画のプロセスを数多く経験。主な仕事に、大岡川プロムナード(横浜市)、ゴリラ公園(川口市)、野口英世記念公園と長浜ホール(横浜市)など。著書「まとまらない意見をまとめる合意形成の技術」(西東社)、「地域が主体のまちづくり 横浜鶴見『てらお福まち』のチャレンジ」(横浜市社協)など。

網河功

つなかわいさお

横浜市環境創造局南部公園緑地事務所担当課長(都心部公園担当)。1988年横浜市へ入庁。緑政局公園部管理課を担当、都市計画局都市デザイン室、緑政局企画課、都市基盤整備公団、都市整備局都市デザイン室を経て環境創造局公園緑地整備課を務める。

賀谷まゆみ

かやまゆみ

横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課地域支援担当課長。昭和61年入庁。鶴見区役所総務課に配属。入庁後ほどなく「よこはまかわを考える会」に出会い、続いて「鶴見川を楽しくする会」メンバーとして活動、「鶴見川ネットワーキングフェスティバル」にかかわる。鶴見区役所に9年間勤務の後、都市計画局企画調査課で「市民まちづくり活動支援」「パートナーシップ推進モデル事業」等を担当。その後、都筑区役所、経済観光局をへて、都市経営局（現、政策局）で調査季報、市民生活白書等を担当。平成22年4月より現職、「身近な地域・元気づくりモデル事業」（22年度）「元気な地域づくり推進事業」（23年度）を担当。

宮澤好

みやざわよしみ

M・コミュニティデザイン室（元横浜市都市デザイン室担当）。1970年横浜市入庁。建築局で学校建設に携わる。1978年から都市計画局にて港北ニュータウン公益施設計画等を手掛け、その後1982年には都市デザイン室にて水と緑のまちづくりや区の魅力づくりを担う。1991年から上大岡駅周辺再開発事務所を担当しつつ、実務の傍ら大岡川環境整備を支援する。1995年から緑政局にて横浜総合運動公園整備室、横浜国際総合競技場、多目的遊水地全体計画を担当。1999年に再び港北ニュータウンを担当、また戸塚中央区画整理を同時に担当する。

米山淳一

よねやまじゅんいち

地域遺産プロデューサー、一般社団法人横浜歴史資産調査会常務理事・事務局長。獨協大学外国語学部1974年卒業。財団法人日本ナショナルトラスト事務局長として全国の歴史・自然遺産を多数の保存・活用・再生をてがける。一方で現在は地域遺産プロデューサーとして全国の自然・歴史遺産を貴重な地域遺産として捉え、保全・観光活動に従事。

獨協大学オープンカレッジ講師、NHK文化センター(青山)講師、東映株式会社「大鉄道博覧会」企画プロデューサー、日本鉄道保存協会顧問、一般社団法人横浜歴史的資産調査会(愛称:横浜ヘリテイジ)常務理事・事務局長に就任(平成21年7月～)等を務める。

野原卓

のはらたく

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授。1975年東京都生まれ。1998年東京大学工学部都市工学科卒業。2000年同大学大学院工学系研究科都市工学専攻修了。2000年から設計事務所勤務の後、東京大学大学院工学系研究科助手及び同国際都市再生研究センター特任助手、同先端科学技術研究センター助教を経て2010年から現職。岩手県洋野町や福島県喜多方市、東京都大田区を始め、各地で都市デザイン・まちづくりの活動に従事している。主な著書に、「まちの見方・調べ方―地域づくりのための調査法入門」共著(朝倉書店2010年)、「世界のSSD100―都市持続再生のツボ」共著(彰国社2009年)など。

国吉直行

くによしなおゆき

都市デザイナー、横浜市立大学国際総合科学部特別契約教授。1945年 中国天津市生まれ。1970年 早稲田大学建築学科大学院在籍中に、建築学会関東支部事業委員として街づくりコンペを企画し、横浜臨海部造船所地区（後のMM地区）を候補地区とし、横浜市と交渉、田村明さんと巡り合う。1971 早稲田大学大学院修士課程修了。田村明さん率いる横浜市企画調整室に嘱託研究員で入庁、都市デザインチーム（後の都市デザイン室）設立に参加し、40年間、都市デザイン室に所属し、横浜市の都市デザイン行政を担当。2001年 都市計画局都市デザイン室長。2004年 都市計画局上席調査役エグゼクティブアーバンデザイナー。2006年 横浜市を退職。嘱託特別職で再度勤務。都市整備局上席調査役エグゼクティブアーバンデザイナー。2008年 横浜市立大学国際総合科学部ヨコハマ起業戦略コース特別契約教授を兼職。2011年 横浜市を完全退職。現在は都市デザイナー、横浜市立大学国際総合科学部特別契約教授として活動中。

鈴木伸治

すずきのぶはる

1968年大阪府生まれ。東京大学大学院修士課程・博士課程を経て、同大学助手。関東学院大学工学部土木学科専任講師、助教授を経て、現職。著書に『創造性が都市を変える』（学術出版社）ほか。日本都市計画学科論文奨励賞（2003）を受賞。大学まちづくりコンソーシアム横浜代表委員。

都市デザインの現場から

横浜都市デザイン40年の軌跡 ～ vol.2

企画・監修：鈴木伸治

編集：山田千代 中川ちあき

発行：横浜市立大学

本報告書の発行は文部科学省大学教育のための戦略的大学連携支援プログラムにより行われた。

印刷所：シュープリント

発行年月：平成24年3月

